

プログラム

7月19日(土) 第1会場(1F ホール)

特別講演

10:00~11:00

座長：大工谷 新一（北陸大学医療保健学部理学療法学科）

医療DXへの期待と日本理学療法士協会の方向性

齊藤 秀之（公益社団法人日本理学療法士協会 会長）

教育講演 I

11:10~12:10

座長：大工谷 新一（北陸大学医療保健学部理学療法学科）

医療DXを「わたしたちの健康」の視点から考える

吉田 俊之（公立大学法人埼玉県立大学地域連携センター）

ランチョンセミナー

12:20~13:20

座長：岡崎 英人（医療法人社団岡崎会有玉病院）

リハビリテーション・口腔・栄養の三位一体

若林 秀隆（東京女子医科大学病院リハビリテーション科）

共催：一般社団法人地域医療未来創造ネットワーク

基調講演(オンライン)

13:30~14:30

座長：近藤 国嗣（日本リハビリテーション医療デジタルトランスフォーメーション学会）

地域医療のBCM/BCP を考える～社会課題に向き合うことと能登半島地震の経験～

神野 正博（社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 理事長）

企画シンポジウム

14:40~16:40

座長：川上 途行（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

能登半島地震における現地での災害リハビリテーション情報収集、管理の経験

戸田 悠介（金沢医科大学病院リハビリテーションセンター）

災害リハビリテーション支援チーム派遣におけるDXへの期待

和田 彩子（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

災害医療における情報プラットフォームの現状

梅原 健（独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター）

災害リハビリテーション支援のための生活機能トリアージ・災害診療記録アプリケーションシステム開発に向けた研究

三上 幸夫（広島大学病院リハビリテーション科）

7月19日(土) 第2会場(2F 大会議室)

一般演題1 業務改善

11:10~12:10

座長：高島 千敬（広島都市学園大学健康科学部 リハビリテーション学科）

O-1

岡山中央病院でのスマホ活用による業務改善とその効果検証
カルテ記録時間短縮・間接業務削減・スタッフ満足度の調査結果から見えてきた業務変革について

○林 浩之、近藤 智哉、神吉 洋輝

岡山中央病院

O-2

患者担当者チーム支援システムの院内独自開発(内製化)と業務変革の取り組み

○栗原 一樹、畑田 俊太郎、松下 武矢、林田 真一郎、出口 克己、中島 龍星、
鬼塚 伸也

長崎リハビリテーション病院 DX推進本部

O-3

リハビリテーション機器点検簿のデジタル化の取り組みについて

○杉谷 英太郎、鶴本 理人、三宮 克彦

熊本機能病院 総合リハビリテーション部

O-4

現場起点で進化したリハビリテーション部DX推進体制と院内複数部門への展開

○陣内 卓朗、井本 俊之、甲斐田 幸輝

株式会社麻生 飯塚病院

O-5

Access・API・RPAを活用した現場主導の業務支援基盤構築と帳票・研究活用

○陣内 卓朗、井本 俊之、甲斐田 幸輝

株式会社麻生 飯塚病院

7月20日(日) 第1会場(1F ホール)

教育講演Ⅱ

9:00~10:00

座長：金子 文成（東京都立大学 人間健康科学研究科 理学療法科学域）

リハビリテーション技術の社会実装に向けて-北陸大学健康未来社会実装センターの取り組み-

大畑 光司（北陸大学健康未来社会実装センター）

シンポジウム

10:10~11:50

座長：牛場 潤一（慶應義塾大学）

白波瀬 元道（永生会法人本部リハビリテーション統括部）

トップスポーツ支援におけるデータ利活用

小笠原 一生（大阪大学大学院医学系研究科健康スポーツ科学講座神経情報学）

ヘルスケアにおいて解くべき課題と解決策—デジタルとアナログの融合—

小峰 秀彦（国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門）

身体活動・スポーツで重症疾患はどこまで防げる？ —DXによる社会システム構築への提言—

塩澤 伸一郎（株式会社RMI／国立がん研究センター）

7月20日(日) 第2会場(2F 大会議室)

一般演題2 AI

9:00~10:00

座長：持丸 正明（国立研究開発法人産業技術総合研究所）

O-6

急性期脳血管障害症例における歩行自立の予後予測に関する検討:AI解析を用いた予備的研究

○中嶋 宏成¹、宮本 英嗣²、小野 圭介³、安部 千秋^{3,5}、小岩 幹¹、阿部 正之^{4,5}、白坂 智英⁶

1. 社会医療法人北斗 北斗病院 リハビリテーション部 理学療法科、2. 社会医療法人北斗 北斗病院 リハビリテーション部 作業療法科、3. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部 理学療法科、4. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部 作業療法科、5. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 先進リハビリテーション推進室、6. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 診療部 リハビリテーション科

O-7

急性期脳血管障害症例におけるトイレ動作自立の予後予測に関する検討:AI解析を用いた予備的研究

○宮本 英嗣¹、中嶋 宏成²、小野 圭介³、安倍 千秋^{3,5}、阿部 正之^{4,5}、白坂 智英⁶

1. 社会医療法人北斗 北斗病院 リハビリテーション部 作業療法科、2. 社会医療法人北斗 北斗病院 リハビリテーション部 理学療法科、3. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部 理学療法科、4. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部 作業療法科、5. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 先進リハビリテーション推進室、6. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 診療部 リハビリテーション科

O-8

AIによる因果分析をリハビリテーション方針の立案に活用した事例:予備的研究

○小野 圭介¹、磯崎 隆司²、岩田 啓介³、安部 千秋^{1,4}、高橋 良輔^{1,4}、森田 和幸⁵、荒 洋輔^{4,5}、阿部 正之^{4,5}、白坂 智英⁶

1. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部 理学療法科、2. 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所、3. ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社 法人サービス事業部 事業推進部、4. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 先進リハビリテーション推進室、5. 社会医療法人 北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部 作業療法科、6. 社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 診療部 リハビリテーション科

O-9

AIを活用したRプログラムによる脳卒中理学療法の時間効果の解析方法の紹介

○吉田 勇一¹、二宮 省悟²

1. 九州看護福祉大学 看護福祉学部 リハビリテーション学科、
2. 東京国際大学 医療健康学部 理学療法学科

O-10

効果的なチームミーティングに向けた生成AIの活用について

○杉原 俊一、工藤 章、小島 孝郎

医療法人秀友会 札幌秀友会病院 リハビリテーション科

一般演題3 脳疾患リハビリテーション

10:10~11:10

座長：井上 靖悟（東京湾岸リハビリテーション病院 理学療法科）

O-11 AIを活用してメールに適した文の作成が可能になった失語症例

○高津 亘広^{1,2}、田村 奈美¹、加瀬 絵美莉¹、川上 途行²、近藤 国嗣¹

1. 東京湾岸リハビリテーション病院 リハビリテーション部、
2. 慶應義塾大学 医学部 医学研究科 リハビリテーション医学教室

O-12 歩行時の足部内反に対して前脛骨筋への拡散型圧力波を実施した脳卒中片麻痺の一症例

○守屋 耕平¹、奥山 航平^{1,2}、道願 正歩^{1,2}、辻 哲也^{1,2}、川上 途行^{1,2}

1. 慶應義塾大学病院 ニューロモデュレーションセンター、
2. 慶應義塾大学病院 リハビリテーション医学教室

O-13 幼児期発症の脳腫瘍治療後に残存した上肢麻痺に対するニューロリハビリテーションの経験

○中山 晃¹、奥山 航平²、岩間 清太郎³、川上 途行^{1,2}、伊藤 惇亮¹、川畑 有紗¹、紙本 貴之¹、道願 正歩²、牛場 潤一³、辻 哲也^{1,2}

1. 慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室、
2. 慶應義塾大学病院 ニューロモデュレーションセンター、
3. 慶應義塾大学理工学部 生命情報学科

O-14 手指ロボットMELTzを使用した課題指向型練習により、ファスナー開閉を含む更衣動作の獲得に至った脳卒中重度運動麻痺片麻痺の一症例

○道願 正歩¹、奥山 航平^{1,2}、守屋 耕平^{1,2}、辻 哲也^{1,2}、川上 途行^{1,2}

1. 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室、
2. 慶應義塾大学病院 ニューロモデュレーションセンター

O-15 経頭蓋直流電気刺激を用いた運動療法により静的バランス能力の向上を認めた脳卒中後片麻痺の一症例：スマートフォン内蔵IMUセンサによる定量分析

○奥山 航平^{1,2}、守屋 耕平^{1,2}、道願 正歩^{1,2}、辻 哲也^{1,2}、川上 途行^{1,2}

1. 慶應義塾大学病院 ニューロモデュレーションセンター、
2. 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室

一般演題4 自動化・管理

11:20~12:20

座長：茨木 拓也（株式会社NTTデータ経営研究所）

O-16 回復期リハビリテーション病棟における心不全管理の自動化とその成果

○香月 康太¹、平松 夏姫¹、藤田 浩祐¹、川井 康平^{1,2}

1. 社会医療法人 敬和会 大分リハビリテーション病院、
2. 社会医療法人 敬和会 デジタル推進局

O-17

脳卒中地域連携パス情報出力アプリケーション開発によるリハビリテーション調査の効率改善に向けた試み

○上羽 佑亮^{1, 2}、兵頭 勇己³、竹村 光広^{1, 4}、上羽 哲也¹

1. 高知大学 医学部 脳神経外科、
2. 高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部、
3. 高知大学医学部 附属医学情報センター、
4. もみのき病院 脳神経外科

O-18

多職種カンファレンス記録を活用した退院予定把握システムの構築と効果検証

○荒川 達彌^{1, 2}、西下 智^{2, 3}、平川 清華⁴、永野 聖子⁴、神野 陽子⁴、能登原 正彦⁵、松本 憲二⁶、坂本 知三郎⁶

1. 医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院 情報管理室、
2. 医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院 療法部、
3. 医療法人篤友会 リハビリテーション科学総合研究所、
4. 医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院 看護部、
5. 医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院 営業部、
6. 医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院 診療部

O-19

高齢者の社会参加を可視化する発話量解析システムの精度検証

○高橋 淳太¹、小林 吉之²

1. 明治安田厚生事業団 体力医学研究所、
2. 産業技術総合研究所 人間社会拡張研究部門

O-20

退院時リハビリテーション指導における動画導入の効果検証

○平松 亮太郎、佐藤 明、安部 優樹、今岡 信介

大分岡病院 リハビリテーション部

7月20日(日) ポスター会場(2F 研修室1)

ポスターセッション1 業務改善

9:00~10:00

座長：川上 途行（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

P-1 リハビリテーション部門における業務効率化の取り組み～RPAの部門内での内製化～

○荒井 幹人¹、立澤 研二²、小林 陽平¹、仲 桂吾^{1,4}、竹田 浩明³

1. 社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院 医療技術部 リハビリテーション課、
2. 社会医療法人財団石心会 法人事務局電子情報開発部 埼玉ITセンター、
3. 社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院 医療技術部、
4. 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

P-2 電子カルテとデータベースへの二重入力を不要としたリハビリテーション評価データ管理システムの構築

○光安 達仁^{1,2}

1. 福岡リハビリテーション病院 データ分析室、
2. 福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部

P-3 【実践報告】PowerBIを活用した業務実績の見える化

○吉川 晋矢

洛和会本部 本部技術部門統括室
兼 洛和会音羽病院 リハビリテーション部

P-4 【実践報告】PowerAppsを活用したヒヤリハットアプリの開発

○吉川 晋矢

洛和会本部 本部技術部門統括室
兼 洛和会音羽病院 リハビリテーション部

P-5 「感染兆候、見逃さない。」～Robotic Process Automationを活用した医療現場の感染管理～

○川井 康平^{1,2}

1. 社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院、
2. 社会医療法人敬和会 デジタル推進局

P-6 当院の嚥下機能評価・リハビリテーション体制におけるDXの推進—RPA導入の効果—

○河村 迅¹、竹本 雄一郎¹、今井 康介²

1. 広島市立北部医療センター安佐市民病院 リハビリテーション科、
2. 広島市立北部医療センター安佐市民病院 放射線技術部

ポスターセッション1 調査・研究・教育

9:00~10:00

座長：川上 途行（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

P-7 地域在住高齢者主体のICTを活用した「通いの場」についての調査研究

- 古賀 昭彦¹、安田 邦彦¹、沖 雄二¹、猿渡 進平²、村上 宏樹²、竹下 一樹³
1. 帝京大学 福岡医療技術学部 作業療法学科、2. 医療法人静光園白川病院、
3. 大牟田市中央地区地域包括支援センター

P-8 VR・ARを活用した喀痰吸引のシミュレーション教育

- 沖 雄二
帝京大学 福岡医療技術学部 作業療法学科

ポスターセッション2 評価

9:00~10:00

座長：奥山 航平（慶應義塾大学病院ニューロモデュレーションセンター）

P-9 地域包括ケア病棟入院高齢者における身体活動量の入院期間中の変化

- 三枝 洋喜^{1, 2, 3}、寺尾 友佑^{4, 6}、田中 周^{3, 5}、大川 皓平³、松本 博樹³、
南部 美帆³、仲 桂吾³、加藤 真美³、大澤 一貴³、山田 実⁶
1. 湘南慶育病院 リハビリテーション科、
2. 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室、
3. 筑波大学大学院 人間総合科学学術院、4. 東京慈恵会医科大学附属第三病院、
5. 東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、
6. 筑波大学 人間系

P-10 幼児期における微細運動の質的評価を定量化する試みー深層学習を用いたマーカーレス運動解析を用いてー

- 宇田 あかね¹、小川 詩乃¹、最上 晴太²、船曳 康子¹
1. 京都大学大学院 人間・環境学研究科、
2. 京都大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター

P-11 AIによる外反母趾重症度分類システムの構築に関する基礎研究

- 肥田 光正¹、今岡 真和¹、中尾 英俊²、中村 美砂¹、今井 亮太¹、北川 広大³、
和田 親宗⁴
1. 大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部、
2. 城西国際大学 福祉総合学部、3. 八戸工業高等専門学校 産業システム工学科、
4. 九州工業大学大学院 生命体工学研究科

P-12 単眼カメラ画像を用いたマーカーレスモーションキャプチャ～前額面画像からの矢状面角度も含めた検討～

- 井原 拓哉¹、藤田 浩二²、脇 智彦³、二村 昭元¹、秋田 恵一⁴
1. 東京科学大学 新産業創成研究院 医療工学研究所 運動器機能形態学講座、
2. 東京科学大学 医療デザイン室、3. 東京科学大学 整形外科、
4. 東京科学大学 臨床解剖学

P-13

深層学習を用いた脳血流の時空間特徴抽出に基づくアンサンブル学習モデルの脳状態判別性能

○増尾 明^{1, 2, 3}、佐久間 拓人²、加藤 昇平²

1. 星城大学 経営学部、2. 名古屋工業大学、3. 名古屋医健スポーツ専門学校

ポスターセッション2 VR、症例報告

9:00~10:00

座長：奥山 航平（慶應義塾大学病院ニューロモデュレーションセンター）

P-14

Virtual Realityリハビリテーションにより、上肢機能が改善したC5麻痺の一例

○工藤 正和¹、桑野 亮太¹、藤川 智広¹、篠原 直樹²

1. 社会医療法人 石川記念会 HITO病院 リハビリテーション部、

2. 社会医療法人 石川記念会 HITO病院 脳神経外科

P-15

軽度半側空間無視患者に対するVR型リハビリ支援システム「Vi-dere」の効果検証：単一事例研究

○島森 諒太郎、鈴木 蓮

釧路孝仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション部

ポスターセッション2 ロボット・生体反応

9:00~10:00

座長：奥山 航平（慶應義塾大学病院ニューロモデュレーションセンター）

P-16

マッスルスーツ屈曲補助モデル装着による足踏み動作が静的及び動的バランスに及ぼす影響

○森田 正治

福岡国際医療福祉大学 医療学部 理学療法学科